

KitaSuma 高

Hyogo Prefectural
KitaSuma High School

兵庫県立北須磨高等学校

同窓会報

Vol.2 2010 December

CONTENTS

- 2 同窓会長・学校長
あいさつ
- 3 同窓会報告
- 4 OB探訪
2回生まり遥さん
(福井真理さん)
- 5 学校行事報告
- 6 部活動紹介
- 7 進路状況
会計報告
職員の異動
同窓会役員の紹介
- 8 賛助者一覧
- 12 事務局より



↑ 北須磨高校同窓会の公式HPにて情報をご覧ください
<http://kitasuma.com>

同窓会長挨拶



同窓会長

東浦 信二（1回生）

皆様こんにちは、同窓会長の東浦信二です。

いよいよ2011年、本校も40周年の記念の年を迎えます。この同窓会報も2号目となり、ページ数も増えました。内容も、各回生の同窓会の話題を掲載するなど、ますます活発な同窓会活動が感じられます。

今年は文武両道とも言える、各クラブ活動の活躍ぶりにも注目が集まった年でした。野球部の躍進がその際たるものでありました。また文化部でも書道部、茶華道部、放送委員会など、県大会や全国大会でその成果を十分に発揮されたと思います。

来年度は本校でも耐震補強工事が始まりますが、何とか40周年記念式典を体育館で行うことができる予定です。また同窓会主催の祝賀パーティも予定しております。それら一連の行事につきましては、予定が決まり次第、同窓会のホームページなどで皆様方にお知らせしてまいりますのでご注目ください。

来年度は第40回生を迎える北須磨高校ですが、その年数の重みを受け止め在校生、その保護者の皆様、職員の方々、そして、きたすま会の皆様方とともに一層の本校の発展に寄与すべく、同窓会として活動続ける所存であります。

同窓生各位におかれましても、さらなる同窓会活動へのご理解とご協力をお願いして私の挨拶とさせていただきます。

学校長挨拶

同窓会報に寄せて

同窓生の皆様、こんにちは。お元気で活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、北須磨高校は、平成23年に創立40周年を迎えます。昭和47年に太田中学校で産声をあげた我が校は、翌年現在の友が丘の地に移転し、平成14年度に普通科単位制高校に改編して今日に至っています。この間、本校は14,886名の有為の人材を世に輩出してきました。現在は720名の生徒が学んでいます。

彼等は、先輩方から引き継がれた本校の伝統である「文武両道」の精神を堅持し、校訓「心清和、体清毅、生活清快」のもと、「清か」を基調とする爽やかな高校生活を送るべく頑張っています。その成果として、本年度全国大会へ、書道部、美術部、放送委員会、陸上部が出場し、近畿大会も含め横断幕が6つも校門横に掲げられました。

また、学習においては、平成21年度から「55分授業」を展開するなど、確かな学力の定着を図るべく授業の充実を目指し、生徒・教職員一体となって取り組んで参りました。その結果、近年では国公立大進学者が100名程となっています。一方、本年度からオーストラリア・パースのロスモイン高校と短期交換留学を開始しました。12月にはロスモイン高校の生徒が来日し、本校生とともに授業や部活動、ホームステイを行います。

このように、皆様の母校北須磨高校は着実に進化しています。そして、生徒たちは「自ら考え、自ら選び、自ら学ぶ」のモットーのもと、自己を見つめ、自己を生かし、進路実現に向け、自己を大きく伸ばそうと意欲的に努めています。そこで、同窓生の皆様におかれましては、これからも北須磨高校を、温かく、厳しく見守っていただきたいと思います。

最後になりますが、40周年記念式典は平成23年10月22日（土）に本校体育館で举行します。同時に、生徒・同窓生によるスライドショー・座談会や2回生のまり逢さんのコンサート、祝賀パーティを実施します。多くの同窓生の皆様のご出席をお待ちしています。



学校長

堀 健児

40周年記念式典のご案内

日時：平成23年10月22日（土） 場所：北須磨高校体育館

当日は同窓会主催の記念パーティも予定いたしております。

詳しいことが決まり次第同窓会ホームページにてご案内いたします。

7回生 同窓会開催 平成22年10月10日(日) 北野のグリーンヒルホテル神戸にて

平成22年10月10日(日) 北野のグリーンヒルホテル神戸にて7回生同窓会を開催いたしました。7回生は数年前から親睦を深める為に同窓会を何度も開催しています。

今回は千原俊貴さんを中心に数人のメンバーが8月から準備をしました。

当日は元校長先生(当時は英語教師)竹田洋二先生にご参加いただき、懐かしい思い出をご披露頂きました。現母校教師原田邦彦先生(国語、同窓会顧問)からは、現在の北須磨高校の近況等をご報告頂きました。

一流シェフによるお料理、鍋澤典彦さんによる乾杯発声、みんなの楽しい歌や踊り、チームKによる沖縄民謡の演奏。女性にはブーケのプレゼントもありました。

今回の同窓会を記念し『7回生北須磨会バッジ』も登場しました。

久しぶりの旧友との再会に参加者全員が『笑顔一杯』『幸せ一杯』の『7回生北須磨会』でした。



北須磨高校8回生 第3回同窓会報告



三年連続、第3回目の同窓会が11月20日生田神社社会館にて催されました。

出席者1次会43名、同会館隣室で引き続き行われた2次会も39名と多数の参加者があり、昼の2時から晩の9時頃まで、延々、30年近くにもなる昔話に花を咲かせました。

より多くの同級生と歓談出来るよう、初企画の1時間ごとに1年、2年、3年のクラス別に席替えしてみたのですが、「え～、私1年は何組だったっけ～」「担任は誰だったかなあ…」「私はこのクラスにいた?」と、わいわい盛り上がりしました。

秋晴れの中、昔の仲間と再会することができ、とても素晴らしい日となりました。

10回生同窓会

去る10月24日に行われました卒業以来初めての10回生全体での同窓会です。

参加者は80名を超え、盛会のうちに無事終了。

当日は遠藤先生をはじめ、現北須磨高校生徒指導部長の中岡先生にもご臨席を賜り本当に楽しく、高校生時代に戻ったような盛り上がり方でした。

2次会だけにご参加くださった方もいらっしゃり、こちらも本当に楽しかったです。

次回は5年後(50歳記念ですか?)を予定しております。それまでには住所不明者の方を探し出したいと思いますので、皆様のご協力よろしくお願いします。



放送委員会OB会第2回総会

10月31日に北野の異人館「キャセリンハウス」を借り切って、KBC_OB会第2回総会が行われました。

当日は1回生から最新の36回生までが集うという、結束の放送委員会らしい総会になりました。

OB会の規約、会則を決めるという硬い部分もきちんとこなし、今年度の卒業生を待って来年3月に次回総会を開くことも決定しました。それから懇親会に移りました。自己紹介では自分を表す一文字を各自考え発表し、それぞれ色々なスタンスで今の自分を紹介していました。

懇親会での最大イベントは、現役生に出した夏休みの宿題作文「ある日の午後の放送室」のOBによる朗読。作品の内容もさることながら、35回生西畑さんの見事な朗読に一同拍手喝采でした。

その2年次生前川鈴奈さんの作品はそのまま来年のNHKコンテストに出るかもしれません。いつにもましてテンションが上がったOB会でした。



OB
探訪

2回生 まり遥さん(福井真理さん)



今回は2回生で、歌手としてご活躍中のまり遥さん(福井真理さん)にご登場いただきました。
12年間の教員生活の後、歌手として再出発されたまりさんにそのきっかけ等を詳しく伺いました。

—— 本日はクリスマスディナーショーを前にして大変お忙しい中をありがとうございます。よろしくお願いいたします。

まり こちらこそ、よろしくお願いいたします。

—— まず初めに、学校の先生になろうと思われたきっかけは？

まり 両親をはじめ、祖父母や、叔父叔母が教育関係者だったので、学校の先生になるものだ、とレールが敷かれているような環境でした。

大学は大阪音楽大学短期大学部の声楽科へ進みました。短大の生徒はほとんど全員が4年制への編入を希望するので、私ももっと勉強したくて受けたんですが落ちました。教職は通っていたので、そのまま音楽の教員になったわけです。

—— 最初の赴任地は神戸だったのですか？

まり たまたま西脇市の西脇中学校に音楽の先生の空きがあるということで行きました。県の教職員としての採用だったので、明石を希望していたのですが……。

そこで1年間教えて、幸い明石に帰ってくることができ、二見小学校に赴任しました。そこで4年間音楽専科で教えていて、その生活にも慣れてきたんですが、このまま小学校の音楽の先生をずっとやっていくイメージが自分ではなかったんです。「何か違う」という思いで過ごしていたところへ明石養護学校(明石市唯一の養護学校で、重度肢体不自由児のための小、中、高等部がある)へ行っている友人から「音楽のできる先生がいなくて困っており、障がいを持った子どもたちにこそ音楽が必要なの」という話を聞きハッと思ったんです。求められているところに行きたい、よし行こうって思いました。

そこで二見小学校の学校長に翌年度の異動願いを出しました。今でこそ色々なタイプの先生が養護学校へ勤めておられる時代になりましたが30年近く前には、自ら希望して養護学校へかわる先生は皆無に近かったんです。

ましてや音楽の先生がわざわざそういう所へかわるのは奇異に思えたらしく、小学校の校長先生に「何でや?」と聞かれたぐらいです。感覚が今とは違う時代でした。

それで明石養護学校での教員生活がスタートしたのですが、子どもたちの身体や心、生活のあらゆることや、家族、特にお母さんたちのことなど、今まで知らなかったことばかりで、カルチャーショックを受けながら毎日勉強でした。

また私の音楽がこの子たちに通用しなかったら、一体何を勉強してきたことになるんだろう?と思いながら、緊張と喜びを持って音楽にも取り組んでいました。そういう環境が私自身をリフレッシュというとおかしいですが自分自身を見つめ直すことができたと思います。障がいを持った子どもたちから教えられることのほうが多かったように思います。肉体的にはすごくきつかったです。30キロ、40キロもある子どもたちを毎日介助したりしていると、腕や指が麻痺してしまい、日常動作がスムーズにできなかったり、ピアノが弾きにくくなってしまったり。

そういう生活を7年間続けたので身体は最後ボロボロでしたね。でもそれにもまして、いわば人生の修行をさせていただいたと思います。そして養護学校へ行かなかったら、歌手にはなれなかったと思います。

—— 歌手になられたきっかけというか、いつ頃からそういう活動をなさっていたのですか？

まり 養護学校にかわってから2年目ぐらいに、趣味で習っていたシャンソン教室から何の気なしに神戸であったシャンソンコンクールに出場したんですが、そこで最優秀歌唱賞をいただきま

して副賞がなんとバリ旅行。学校に勤めているので行くのは無理だとあきらめていたのですが周りの先生方に「ぜひ行っておいで」と言ってもらって1週間休みを貰って行きました。

そういう賞を頂いたりしたのですが、当時はプロの歌手になるとか全く考えていなくて、引き続き学校の教師をしながら歌の勉強も続けようと思っていました。

でも何年も歌の勉強を重ねることで、歌の深さがわかってきてもっと勉強したいという気持ちが強くなりました。それにアマチュアではありますが、発表会に出たり、先生のお供で行ったライブハウスに内緒で出たりとかますます歌うことが面白くなってきていたと思いますが、その後数年間は具体的にどうしたいとかは無かったです。

それが29歳ぐらいのときに、独身女性としては悩み多き時期なんですが、何かやってみたいという気持ちが強くなったんです。でもまだ踏み切れず、そのあたりが私らしいかも(笑)そういうモヤモヤした気持ちを持って暮らしていたんですが、大きなきっかけになったのはやはり養護学校の子どもが(身体が弱くて)亡くなっていくのを見送った経験ですね。何人もの子どもたちのお通夜やお葬式に出席して、10歳になるかならないかの子どもの死を見て、その事実を突きつけられて、じゃあ私はどうなのと。おそらく普通校の教師をしていたらわからない感情だと思います。今生かされている私はどうしたいのか。このまま学校の先生を続けたいのかって自問したら、「違うって……」

—— でもそれがきっかけで、歌を歌うことで生きて行こうとか思われたのですか？

まり 具体的には31歳のときにリサイクルを計画したんです。別に営利目的でなければ、学校の先生でも例えば絵の個展を開くとか、同じように発表の機会を持てるので計画したんですね。

それまでにレッスン歴が10年近くになっていて、それまでのいわば集大成として第1部ではシャンソンを歌い、第2部では、ミュージカルや洋楽が大好きだったので、「サウンドオブミュージック」を全曲歌うという大掛かりなことになってきたんです。劇団四季のOBの方にトラップ大佐のところを歌ってもらい、ちょっとしたダンスなどもいれたり。実際には32歳の7月に開くよう会場を押さえていたんです。1年がかりで練習をして、やると。

ところがその練習段階で「もう、これは、あかん」と。これを成功させるためには、趣味でやっているのでは無理だと。これに没頭しないと中途半端なものになってしまうだけで、学校の仕事にも支障をきたすと感じました。

その段階でいままでウジウジとしていたものが「バァーン」とはじけて、「辞めよう!」と。(笑)でその次の3月で退職しまして、12年間の教員生活にピリオドを打ちました。

—— そうして歌手としてスタートされたわけですが、歌手の道も茨の道だったのでは？

まり そう、それまで以上に茨の道ですね。(笑)

—— 歌手になられてからは、やはりシャンソンを中心に歌われてきたのですか？

まり いえ、実はシャンソンというのはあまり得意なジャンルではなかったんです。たまたま、一番最初に学校に勤めながらレッスンできる時間帯にあるのがシャンソン教室だったんです。それでそこでお世話になったのがご縁でしたから、最初はシャンソン系の場所で歌っていました。

でも元々が洋楽少女だったので、徐々にポップス系もとりまぜ

て歌ってました。今はポップス中心でシャンソンも歌います、というスタイルですね。

—— 歌を歌うことでいつも心掛けられていることはありますか？例えば聴いている人を幸せな気持ちにさせるとか。

まり もちろん、結果的にそう感じてくだされば嬉しいです。でもむしろ、自分の思っているようにできたかどうか技術的な事を考えている部分のほうが多いかもしれません。

—— 今までの活動についてお教え願えますか？

まり はい。最初は関西だけでやっておりましたが、4、5年目ぐらいのときに関西だけにいたらダメだ！と思まして1人で夜行バスに乗って上京しました。人のつてを頼って銀座のお店に出演したのが発端で、山あり谷ありだったのですが今は毎月東京でライブ出演したり、レッスン活動したりしております。来年2月19日には原宿の「ラ・ドンナ」という会場でミニポプリコンサートを予定しております。東京在住の同窓生の方にも是非聴きにきていただけたらうれしいです。

毎月の東京での活動は非常によい刺激になっていますので、これからも続けて行きたいと思っています。収支は赤ですが。(笑)

—— ポプリコンサートの「ポプリ」とはどういう意味でおつけになられたのですか？

まり ポプリと言う言葉は元々ラテン語で「雑多なものを掛け合わせる」と言う意味があって、色々なジャンルのいいものを歌いたいという気持ちから名づけました。語感の可愛らし

インタビュー後の雑談の中で、あなたにとってのアイドル歌手は？とお尋ねしたところ「ラニ・ホール」です、とのこと。ご存知の方のほうが少ないと思いますが昔のグループ「セルジオ・メンデスとブラジル66」の女性ボーカルです。年配の同窓生ならその歌声は聞いたことがあるはず。しかし、さすがはオタクな洋楽少女、マニアックな答えに驚きました。

さもありますね。

—— これからの活動についてはいかがですか？

まり これは私の原点とも言える話なんですけど、高校生の頃も、とにかく洋楽を聴きまくっていたオタクな洋楽少女で多分その頃と同級生とかは私がそういう女の子だとは知らなかったと思います。で、私の血となり肉となっている特に1970年代のすばらしい曲を、今度は提供する側として、皆さんに聴いていただきたいと思っています。また半世紀生きてきた女性ならではのオリジナル曲をもっとつくりたいです。

—— 本日は大変お忙しい中、本当に貴重なお時間を割いていただき、ありがとうございました。

まり ありがとうございました。



まり遥さんの詳しいスケジュール等は公式ホームページでご確認ください。

アドレスは <http://www.mariharuka.com/> です。

来年の40周年記念式典にもご出演くださるまり遥さんをもっと応援いたしましょう。

学校行事報告

文化祭

平成22年6月18日・19日

今年も6月18日(金)に校内祭、19日(土)に一般祭が行われました。体育館では1年次生による合唱コンクール、合唱部や吹奏楽部のステージが、校舎内では文化部の展示など、屋外では2、3年次生による模擬店と多彩な催しで盛り上がりました。文化部にとっては、日頃の活動の成果を発表できる数少ないチャンス。各部とも工夫を凝らした展示や発表を行っていました。参加者全員が楽しめる内容で、北須磨高校の今が感じられる文化祭でした。



体育祭

平成22年9月22日

2010年9月22日、多少秋らしくなったとはいえ、まだまだ厳しい残暑の中で行われた体育大会。クラス対抗競技では、まさに熱い戦いが繰り広げられました。チームプレーの象徴とも思える大縄跳びや2人3脚リレーなど迫力満点でした。ところが女子の綱引きでは前代未聞の出来事がおこりました。あの太い綱が真っ二つに！幸い競技をしていた生徒にけが人等は出ませんでした。綱を結んで次の試合に臨んだのですが、先ほどよりも激しくまたも真っ二つ！！ 今度もけが人等は無かったのですが、さすがに安全第一で綱引きは男子も含めて中止に。

アクシデントもありましたが最後は恒例の騎馬戦。熱い戦いが繰り広げられました。見ているほうも熱くなる体育大会でした。



部活動紹介 club

陸上部

3年次生の中垣匠登君が沖縄でのインターハイ三段跳において7位入賞の快挙を成し遂げました。彼は昨年日本ジュニアユース大会でも6位入賞を果たしています。卒業してからも活躍してくれるとおもいますので、ぜひ熱い声援を送りましょう。

野球部

24年ぶりのベスト16という快挙を成し遂げた夏の大会は記憶に新しいところです。

エースの堅田君が右ひじの故障で出場もままならない中、2年次生の桜井君が力投。

看板の守備で守りきる野球を貫き、少ないチャンスを確実にものにしたプレー

は見ている者に感動を呼び起こし、試合をすすめる毎に応援の数も増えていきました。

秋の大会では実力を発揮できなかったものの、1、2年次生には勉強になったことと思います。

また去る11月には野球部OB会も発足し、全面的にバックアップされるものと思います。

また来年期待して、応援していきましょう。



水泳部

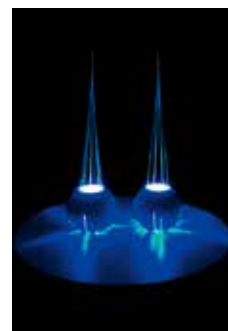
1年次生酒井さんが、オーストラリア プリスベン市での神戸市選抜合宿(12/25～12/31)に選抜メンバーとして参加することになりました。

今年度同窓会から部活動支援策として、プールサイドに写っているビニールシートを寄贈しました。

このビニールシートを夜間から日中にかけて水面に被せておく放課後の練習時には水温が上がり、寒い季節でも練習ができるそうです。

美術部

第34回兵庫県高等学校総合文化祭 美術・工芸部門展において、2年次生の岡本悠里さん、山口直美さん1年次生の小野美也子さんの作品が特選を受賞いたしました。3名の作品は、第35回全国高等学校総合文化祭(平成23年度福島大会)に出品されることも決定しました。



小野 美也子(1年)
「青の光跡」

放送委員会



2年連続でNHK放送コンテスト全国大会出場の放送委員会。今年ラジオドラマ部門で去年を上回る「入選」を頂きベスト10に入る活躍を見せました。個人でもあと一歩で全国には届かなかったものの来年こそその意気込みを見せています。また11月の県総合文化祭でも頑張りました。

現部員数8名ですが、来年は部員をより多く勧誘し、新しい才能を発掘して頑張りたいものです。

書道部

第34回兵庫県高等学校総合文化祭書道展において、優秀校賞(県内では社高校と本校の2校のみ)を受賞し、2年次生の小池彩楓さんの作品が全国総合文化祭推薦賞を受賞しました。

小池さんの作品は来年8月に福島県で行われる全国大会に出品されます。



茶華道部

8月29日本願寺神戸別院において、兵庫県高等学校文化連盟第3回研鑽会(県大会)がおこなわれました。

1チーム5人で課題点前(てまえ)と正客から五客の役割を交代でします。本来は人目に触れない水屋仕事もすべて見えてしまうので、一瞬たりとも気が抜けません。

研鑽会で北須磨高校は良い評価をいただき優秀校として表彰されました。さらに優秀賞受賞校の中から選抜され、11月14日相楽園でおこなわれた近畿高等学校茶道部合同大会に出場し優秀賞を受賞しました。

また去る10月30日第34回兵庫県高等学校総合文化祭開会式が西区民センターで開催され、当校も呈茶のお手伝いをしました。当日神戸市長の短冊が飾られた置床の花入れは、同窓会から寄贈いただいたものです。

また床及び点前の背景を彩った味わいのある障子屏風も今年同窓会から寄贈していただいたものです。

殺風景なロビー、学習コーナーが落ち着いた呈茶席になったのもこれらの道具立てのおかげとすいぶんほめていただきました。この障子屏風は文化祭でも好評でした。

同窓会にご配慮いただいたおかげで本当によいお席になりました。ありがとうございました。



平成22年文化祭一般祭。この朝居けてもらったばかりの屏風の前でお点前

進路状況

平成22年春の大学進路状況について

国公立大学・難関私立大学、特に国公立大学の人気は一向に衰えを見せません。本校でも、国公立大学・難関私立大学に目標を置く生徒が多数を占め、ここ数年、国公立大志向はますます強くなっています。

36回生から6クラス規模となったため、卒業生数は昨年より約40名減少しました。既卒生を含めた進学結果は右表の通りです。国公立大学には計99名が合格しました。神戸大学8名をはじめとして、大阪大学3名、大阪教育大学3名、兵庫県立大学17名など、近隣の国公立大学に多数合格、また北海道大学2名、信州大学6名など、遠隔地の大学にもかなりの数が進学しています。現役だけでも55名が国公立大学に進学しました。また、関西の難関私大である関関同立4私大の合格者数の割合も、今春卒業生の4割を超え、現役での関関同立合格者数の割合も、年々高くなってきています。

大学合格結果(数字は過年度を含んだ合格者数)

国立大学	(卒業生数)	京都大学	大阪大学	神戸大学	兵庫県立大学	神戸市立外国語大学	大阪教育大学	大阪府立大学	大阪市立大学	広島大学	岡山大学	北海道大学	東北大学	九州大学	徳島大学	鳥取大学	信州大学	奈良女子大学	筑波大学	横浜国立大学	その他	合計
平成22年度	233	2	3	8	17	2	3	2	4	2	5	2		1	9	6	6	2			25	99
平成21年度	275		7	9	19	5	9	7	1	5	3				4	4	1				21	95
平成20年度	275	1	9	13	24	4	7	6	2	2	5			1	1	2	1	2	2	2	43	127
平成19年度	278		5	9	11	4	7	4	5	2	6	2	1		5	2	3			1	29	96
平成18年度	277	2		5	18	6	2	3	2	1	2				2	3					25	71

私立大学	(卒業生数)	早稲田大学	慶應義塾大学	同志社大学	立命館大学	関西学院大学	関西大学	その他	合計
平成21年度	233			30	33	70	38	225	396
平成20年度	275	1		26	15	83	43	246	414
平成19年度	275	4	1	44	36	101	60	336	582

(注) 卒業生徒数/22年度-233名、21年度-275名、20年度-275名、19年度-278名、18年度-277名、

北須磨高校 学校ホームページも併せてご覧下さい。

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~kitasuma-hs>

※数字は延べ人数

会計報告

H21年度 収支決算報告				H22年度 予算(案)			
《収入の部》				《収入の部》			
項目	予算	決算	差額	項目	予算		
会費	1,404,000	1,830,000	426,000	会費	1,404,000		
総会収入	0	0	0	総会収入	0		
利息	0	26,306	26,306	利息	0		
広告収入	0	180,000	180,000	広告収入	180,000		
賛助金収入	0	735,800	735,800	賛助金収入	800,000		
雑収入	0	4,200	4,200	雑収入	0		
収入合計	1,404,000	2,776,306	1,372,306	収入合計	2,384,000		
《支出の部》				《支出の部》			
項目	予算	決算	差額	項目	予算		
会員総会費	300,000	0	300,000	会員総会費	100,000		
通信費	950,000	860,347	89,653	通信費	950,000		
会議費	200,000	28,414	171,586	会議費	50,000		
手当	10,000	0	10,000	手当	10,000		
備品費	20,000	100	19,900	備品費	10,000		
会報発行費	650,000	899,619	-249,619	会報発行費	900,000		
部活動助成金	100,000	87,750	12,250	部活動助成金	100,000		
名簿発行費	0	0	0	名簿発行費	0		
雑費	5,000	1,890	3,110	雑費	5,000		
記念品費	200,000	146,400	53,600	記念品費	150,000		
予備費	200,000	0	200,000	予備費	50,000		
支出合計	2,635,000	2,024,520	610,480	支出合計	2,325,000		
当期収支差額	-1,231,000	751,786		当期収支差額	59,000		
前期繰越額	12,461,020	12,461,020		前期繰越額	13,212,806		
次期繰越額		13,212,806		次期繰越額	13,271,806		

職員異動

職員の退職・離任

平成22年度

森野 正路(校長) 退職 山方 淳(国語) 舞子高校へ
真鍋 昌之(事務長) 尼崎工業高校へ 大西 高範(数学) 神戸高校へ
高尾 賢一(英語) 退職 川崎 秋(事務職員) 鳴尾高校へ
高本 正道(理科) 松陽高校へ 岩本 明秀(校務員) 視覚特別支援学校へ

同窓会役員

会長	理事	名誉顧問
1回生 東浦 信二	2回生 内藤 秀夫	学校長 堀 健児
	7回生 貴田さと子	
常任理事	9回生 森川 弘茂	顧問
2回生 宮岡 督修	35回生 高津 智樹	7回生 原田 邦彦
7回生 松下 幸司	35回生 櫻井 綾香	9回生 岡田 和利
8回生 大上 英男	監事	17回生 山口 正義
9回生 大亀 元	3回生 吉田 卓司	
	4回生 内田 弘子	相談役
	4回生 松本 裕子	1回生 土橋 雅代
	8回生 小林 清美	

会報 1 号、会報賛助金ご協力者

ご協力ありがとうございました。

卒回	組	氏 名	卒回	組	氏 名	卒回	組	氏 名	卒回	組	氏 名
旧職員	-	梶 田 忠 司	2	2	三 村 和 也	3	8	本 多 真 人	5	7	竹内(高木)一恵
旧職員	-	岸 本 清	2	2	渡 辺 寛	3	8	小西(藤原)ひとみ	5	8	渡 邊 満
旧職員	-	能 仁 一 郎	2	2	三戸岡(岡田)尚子	3	9	奥 田 守	5	8	藤井(小塩)靖子
旧職員	-	廣 谷 孝 範	2	2	森川(中谷)ひとみ	3	9	小松原(斉藤)知子	5	8	渡邊(西郷)由起子
旧職員	-	田 畑 太 平	2	2	東 妙 子	3	9	宮本(境)美由起	5	8	久村(弓岡)美佐
旧職員	-	高 木 博 史	2	2	牟田口(藤沼)真澄	3	9	佐藤(三浦)史子	5	9	刈 谷 恵 二
旧職員	-	沼 田 典 生	2	2	川田(舟曳)裕子	3	9	藤田(鷺尾)和子	5	9	吉 田 浩 平
旧職員	-	河 原 光 雄	2	2	武貞(宮本)真理子	3	10	喜連川 哲 郎	5	9	河石(堀内)洋美
旧職員	-	石 田 雅 紀	2	3	荒 木 均	3	10	更 屋 晃	5	10	衣 川 互
旧職員	-	細 見 昭 文	2	3	日 高 良 実	3	10	鈴 木 裕	5	10	小 畑 克 弥
旧職員	-	竹 田 洋 二	2	3	藤 井 孝 之	3	10	森 隆 行	5	10	高 見 隆 之
旧職員	-	山 上 文 司	2	3	濱本(岸野)晴子	3	10	森 岡 二 郎	6	1	大 谷 潤 蔵
旧職員	-	山 崎 勝 通	2	3	射場(繁田)美智子	4	1	塩 見 博 之	6	1	岡田(井上)明美
旧職員	-	仁 尾 武 博	2	3	村田(竹内)順子	4	1	柴 田 和 宏	6	1	吉田(片岡)浩子
旧職員	-	細 見 貴美子	2	3	福 井 真 理	4	2	野口(橋本)明美	6	1	吉川(新田)典子
旧職員	-	三 宅 栄 子	2	3	吉 村 孝 子	4	2	山田(浜西)法恵	6	1	松井(三浦)明子
旧職員	-	小 野 喜 士	2	4	藤永(氷室)はつみ	4	3	平 安 俊 昭	6	1	緑(緑 浩子)浩衣
旧職員	-	藤 田 町 子	2	4	若 泉 泰 子	4	3	片山(日下)茂美	6	2	板 井 昭 浩
旧職員	-	小 嶋 悦 廊	2	5	大久保 義 一	4	4	清 水 征 男	6	2	喜 田 真 也
旧職員	-	竹 元 克 子	2	5	久保田 淳 子	4	4	吉田(向井)由佳里	6	2	亀井(小西)武志
旧職員	-	中 井 修	2	6	川 上 尚 之	4	5	村田(河内)悦子	6	3	市 村 優 子
旧職員	-	西 嶋 義 隆	2	6	松 下 洋	4	5	浜崎(中山)京子	6	3	田岡(田中)美和子
旧職員	-	溝 口 よし子	2	6	大 空 律 子	4	5	埜邨(平木)治子	6	4	東 典 彦
旧職員	-	光 吉 幸 次	2	7	片 岡 寛	4	5	才津(間庭)ひとみ	6	4	芝 田 英 司
旧職員	-	中 戸 實	2	7	河野(岸野)かすみ	4	6	清水(大上)由紀美	6	4	尾上(岡本)紀子
旧職員	-	横 山 美 雪	2	7	松井(田辺)康子	4	6	松崎(西田)千香子	6	4	山下(川崎)妙子
旧職員	-	白 井 則 夫	2	7	野田(南都)淳子	4	6	立花(山田)美栄子	6	4	定 森 好 子
旧職員	-	見 谷 千代子	2	7	岡(林) 英子	4	7	舛(前田) 真澄	6	4	青木(三木)麻実
1	1	家 本 勝 世	2	7	貝塚(山本)裕子	4	8	近 藤 晋 也	6	5	祁荅院(牧野)紀子
1	1	田 中 一 吉	2	8	黒 田 寿 男	4	8	塩 谷 高 弘	6	6	西 崎 節 子
1	1	長谷川(岩井)尚美	2	8	宮 岡 督 修	4	8	桑田(稲村)婦美	6	7	榎 和 志
1	1	徳永(宇田)恵美子	2	8	森 川 博 行	4	8	谷中(角) 聖美	6	7	岡村(小林)千恵
1	2	徳 平 雅 昭	2	8	安 原 歩	4	9	坂井(坂江)真佐子	6	8	中平(柴川)和子
1	2	土橋(島田)雅代	3	1	安藤(安藤義)和時	4	10	鳥 越 安 成	6	8	安部(鶴浜)千晴
1	2	宮野(土居)真理子	3	1	太 田 一 男	5	1	名田(川西)克子	6	8	富 澤 洋 子
1	2	元田(山田)ひとみ	3	1	境 康	5	1	松下(横山)かおる	6	9	飯 塚 信 仁
1	3	福原(大場)美由紀	3	1	前田(別荘)ちづ代	5	2	寺原(柏木)香苗	6	9	岡 本 高 幸
1	4	伊 藤 勝 史	3	2	薄 木 誠 二	5	3	大 野 浩	6	9	川 崎 敬 史
1	4	鏡 本 貴 弘	3	2	秋宗(中村)英生	5	3	合 田 新一郎	6	9	吉 田 裕 一
1	4	高見(香山)京子	3	2	玉川(池内)由美	5	3	富田(内海)洋子	6	10	古 賀 聡 明
1	5	佐 川 圭	3	2	酒 谷 為 子	5	3	大林(中嶋)ひとみ	6	10	森 岡 幸三郎
1	5	湯浅(上木原)久子	3	3	和 田 雅 信	5	3	益 田 みゆき	6	10	鞍 谷 尚 子
1	5	藤原(小倉)久子	3	3	田中(青木)ムツヨ	5	4	石 川 励	7	1	浦 田 洋
1	5	峯(河田) 雅恵	3	3	加 藤 裕 子	5	4	梶 尾 雅 哉	7	1	新 谷 雅 博
1	5	萩原(高橋)邦子	3	3	今井(住谷)典子	5	4	伊 達 好 弘	7	2	有 道 俊 雄
1	5	鎮本(中嶋)ちづる	3	4	磯田(北内)雅子	5	4	谷 口 真 澄	7	2	栗 脇 稔 和
1	5	松浦(水野)文子	3	4	山 下 郁 子	5	4	山本(井口)靖子	7	2	八 幡 眞 悟
1	6	東 浦 信 二	3	5	青 木 孝 司	5	4	井上(山之内)敦子	7	2	山 本 純 嗣
2	1	山 田 敦 弘	3	6	岩 村 公 平	5	5	廣島(足立)晴美	7	3	新 谷 晴 弘
2	1	長内(田中)靖子	3	6	宮 地 順 一	5	6	佐 伯 利 一	7	4	原元(松下)恵子
2	1	大森(内藤)寛子	3	7	喜 福 恵美子	5	6	坂 本 知 宏	7	5	橋 本 慎 一
2	2	多 田 義 明	3	7	宮腰(松井) 忍	5	6	高 橋 宏 幸	7	5	笠原(大坪)祐理
2	2	谷 口 忠 男	3	8	中井(岡本)宏記	5	7	武 市 洋 司	7	6	上 田 陽 一

卒回	組	氏 名	卒回	組	氏 名	卒回	組	氏 名	卒回	組	氏 名
7	6	貫 田 さと子	10	1	塩賀(野村)典子	16	2	河 野 准 子	29	6	土 谷 知 世
7	6	松野(並田)万里	10	2	玉串(北山)由紀	16	3	砂 川 隆 夫	29	7	三 好 智 久
7	7	楠(野間元)美香	10	3	犬 伏 利 江	16	6	丹 野 裕 裕	29	9	井 上 順 一
7	8	新 崎 晃 弘	10	4	荒 井 康 博	16	8	岡 本 崇	29	9	馬 場 藍 美
7	8	千 原 俊 貴	10	4	和 田 莊二朗	16	9	八十田(森)由仁子	30	1	藤 森 康 平
7	8	城 谷 恵 子	10	5	松尾(平内)美知子	17	1	白 國 高太郎	30	3	加 藤 博 之
7	9	楯 川 徹 也	10	6	鈴木(橋本)幸子	17	9	橘 敬 志	30	5	山 中 道 雄
7	9	内 田 朋 子	10	8	角田(松本)昌代	17	9	濱 野 博 文	30	8	小 山 文 慧
7	9	橘木(大迫)知子	10	9	岸 本 典 子	18	1	前 田 卓	30	9	藤 井 愛 子
7	9	三 田 純 子	10	10	嘉 納 隆 一	18	6	和田(森松)直子	31	2	宮 地 佑 未
7	10	石 井 久仁子	11	1	松本(野村)景子	19	3	林 高 光	31	3	高 見 悠 悠
7	10	武部(浜松)洋子	11	3	宇都宮(川口)恭子	19	4	末 岡 美 和	31	4	小 松 雄 介
7	10	谷口(山下)由美子	11	4	内 海 元 宏	19	6	奥 田 臣 洋	31	8	高 田 真 史
8	1	苗村(手塚)貴美子	11	5	崎 山 昭 仁	19	10	中 山 純 子	32	2	岡垣内 朋 子
8	1	豊 福 政 子	11	9	竹 内 祥 夫	20	2	濱 田 善 彦	32	3	則 松 和 樹
8	2	神 林 正 樹	12	1	山川(山本)恵子	20	8	森 藤 雄 士	32	3	村 上 弘 晃
8	2	橋 本 修 司	12	2	大岡(宮原)恵子	20	9	工 藤 香代子	32	6	早 草 亮 介
8	2	日 山 克 彦	12	2	山 本 雅 代	20	11	西佐古 晃 子	32	6	湯 浅 洋 史
8	2	中 島 道 子	12	4	田中(仲山)早苗	20	11	平 家 由佳子	32	8	田 中 善 将
8	2	松 岡 智佳子	12	6	豊 嶋 孝 二	21	1	尾 崎 豊	33	2	山 下 和 香
8	3	早 田 文 昭	12	7	山下(柿原)美喜枝	21	3	渡 邊 夏	33	3	菱 田 悠 人
8	4	松 本 智	12	7	角 田 康 子	21	6	藤 田 尚 宏	33	3	森 内 美 希
8	4	吉岡(上原)眞理	12	8	岡 田 文 夫	21	9	松 木 知 也	33	3	矢 野 晴 子
8	4	塩見(志方)和代	12	8	大津留 美 和	22	2	川 本 理 恵	33	4	足 立 美 波
8	4	楯川(萩原)千里	12	9	岸田(齋藤)紀子	22	6	布 谷 一 宏	33	4	澁 谷 怜 司
8	4	真利(宮原)潤子	12	9	西松(竹中)真衣	22	8	河 合 亮 佑	33	5	井 上 彰 一
8	4	平木(山下)千代子	12	10	渡 海 寛	22	8	鎮 西 啓	33	7	谷 口 美 帆
8	5	安 田 豊	12	11	井 上 豊	22	11	寺 岡 志 保	33	7	西 尾 香 織
8	5	小林(石野)清美	12	11	原田(水谷 紗都美)さとみ	23	10	早 川 祐 司	33	7	檜 垣 智 幸
8	5	尾上(東久保)浩代	13	1	澤 田 珠 里	24	1	久 保 達 也	33	8	浅 田 将 嗣
8	5	岡(山本) 早苗	13	1	米 澤 純 子	25	1	高 橋 亜友子	33	8	武 修 平
8	6	延 原 尚 司	13	3	田 村 圭 子	25	1	森 ゆかり	34	1	竹 本 安 里
8	6	高 浜 利 夏	13	4	今関(木村)明子	25	3	河 合 勇 佑	34	3	室 本 早 世
8	6	古 家 眞理子	13	4	長谷川(佐野)利恵子	25	4	平 野 智 也	34	4	古 志 早 大
8	8	武 貞 知 範	13	4	平野(藤井)亜樹	25	5	田 中 智 子	34	5	戸 田 眞理子
8	8	神 吉 史 江	13	5	大 谷 雅 也	25	7	南 條 大 助	34	5	外 山 めぐみ
8	9	柴 田 尚 輔	13	7	武 中 栄 幸	25	8	國 米 厚 臣	34	6	伊 藤 公 則
8	10	柴 野 晃	13	7	間崎(小河)由里	25	8	武 田 朋 士	34	6	大 前 潤 季
9	1	岩 崎 晋 也	13	10	足 立 和 也	26	4	神 田 彩	34	6	宮 地 由 香
9	1	山内(伊藤)由美	14	3	岡 田 愛	26	5	西 山 洋 生	34	8	正 岡 奈 々
9	2	森 本 嘉 則	14	3	相 良 泰 子	27	2	桑 原 由 武	35	3	栗 田 傑
9	3	西 村 剛	14	3	池永(山道)直子	27	2	三 宅 堯	35	3	木 邨 優 花
9	3	金野(佐藤)かおり	14	5	鎌谷(梅路)紀子	27	3	大 搗 泰一郎	35	3	宝 田 奈 穂
9	4	原 田 千 恵	14	6	矢 野 究	27	3	森 智 哉	35	3	時 久 知 里
9	5	大 本 満 和	14	7	川 内 顕	27	4	藤 田 美 央	35	3	山 中 敬 雄
9	5	山口(松森)眞理子	14	7	阿 部 直 美	27	5	馬 場 麗 美	35	4	林 恵 美子
9	5	山 沖 祐 子	14	8	柴 田 こずえ	28	1	齋 木 茉 利	35	5	高 田 祥 子
9	6	前 田 和 美	14	8	田口(山田)真綾	28	1	森 かおる	35	5	山 崎 実 果
9	7	上 田 隆 子	14	9	林(古川)貴美子	28	2	井 上 滋	35	6	西 畑 智 美
9	7	藤 尾 はるみ	15	1	竹 田 正 史	28	3	山 中 智 雄	35	6	林 ひ と み
9	9	伊 藤 伸 暁	15	2	幾 田 勝 典	28	4	永 谷 太一郎	35	7	片 山 学
9	9	岡 田 和 利	15	2	小 寺 誠	28	8	芝 地 孝 典	35	7	勝 間 洋 行
9	9	経 沢 謙 治	15	5	中 川 由 信	28	8	中 村 憲 司	35	7	外 谷 郁 仁
9	9	吉 田 仁 士	15	5	渡 邊 郁 子	28	9	吉 本 泰 生	35	8	小 椋 優 隆
9	10	松 本 晋 司	15	6	村 岸 敏 夫	28	10	瀧 田 正 康	35	8	永 野 隆 大
9	11	田 村 徹	15	8	小池(柴) 規子	29	5	松 木 涉	35	8	山 岡 沙 友里
9	11	藤 定 孝 光	15	9	白 井 展 也	29	6	川 邊 大 樹			
10	1	堅 田 謙 芳	15	9	三 輪 裕美子	29	6	空 中 健 一			
10	1	東浦(天野)ゆう子	16	1	濱 口 周 治	29	6	玉 垣 瑛 一			
10	1	樋口(杉本)幸子	16	2	磯 山 和 恵	29	6	脇 田 雄 介			

放送委員会 OB 会ホームページ → <http://kitasuma.org>

●2011 年 3 月第 3 回 KBC-OB 会 総会を開催致します。



Doodle panda
©VISION QUEST

『ドゥードゥルパンダ』は(株)ビジョンクエストによるオリジナルキャラクターです。



『マミーズー』は(株)ビジョンクエストによるオリジナルキャラクターです。

**オリジナル
キャラクター
発進中!**

株式会社ビジョンクエスト <http://www.vq-goods.com>

代表取締役 青木 孝司 (3 回生) 放送委員会 OB 会・会長

オリジナルグッズ・ステーションナリーグッズ・ノベルティグッズ企画製造



〒550-0013

大阪市西区新町2-18-9-2F

TEL:06-6536-5877 FAX:06-6536-1894

E-mail:info@vq-goods.com

グッズを作る会社です。
お気軽にお問い合わせ下さい。



まり 遥

福井 真理 (2 回生 3 組)

2011 年 2 月 19 日 (土)

原宿ミュージックレストラン「ラ・ドンナ」にて
「まり遥ボブライブ Vol.2 ~ 70 年代のうたが
生きている part2」東京での本格的な
ライブ2回目が決まりました。
くわしくはホームページをご覧ください。

オフィシャルサイト <http://www.mariharuka.com/>

神戸 / 〒650-0011 神戸市中央区下山手通 4-2-3-201
Tel/Fax 078-333-0527

東京 / 〒145-0066 東京都大田区南雪谷 4-24-1-102
Tel/Fax 03-3726-7502

癒し系 木製ドア

オーダー家具製造、販売、修理

有限会社 大成建具

神戸市西区伊川谷町潤和字古川 1016-1

TEL 078-974-5871 ・ FAX 078-974-5862



株式会社 中谷鉄工所



代表取締役社長 **中 谷 嘉 郎**

(2 回生 3 組)

工場 〒651-2124 神戸市西区伊川谷町潤和字近角 762-5 (神戸鉄工団地内)
電話 (078) 974-3685 番代 / FAX (078) 975-0438 番
E-mail: nakatec@pure.ne.jp

本社 〒653-0832 神戸市長田区御船通 4 丁目 1
電話 (078) 691-0742 番代 / FAX (078) 691-2746 番

土岐司法書士事務所

司法書士 土岐 聡 (13 回生 8 組)

- 不動産登記 (売買・贈与等)
- 相続登記
- 商業登記 (会社設立・役員変更等)
- 裁判事務

〒650-0015 神戸市中央区多聞通 3 丁目 3 番 16 号
甲南第一ビル 601 号 事務所 / JR 神戸駅前

TEL (078) 351-1231 (代) FAX (078) 371-0026



からぼっかラーメン 800円

ラーメン 600円 チャーハン 400円
チャーシューメン 850円
焼きブタスタミナ丼 350円

セットメニュー

平日 11:00 ~ 22:00 まで

- A セット ラーメン + ライス 650円
- B セット ラーメン + ミニチャーハン 800円
- C セット ラーメン + キョウガ + ライス 950円

長浜らめい ICHIBAHN

〒675-0012 加古川市野口町野口 687-70
079-425-2081



みるくぱれど

手作りは素敵!!

パンとお菓子作りを少人数でゆったりと基礎から学べます。
簡単にそして おしゃれにホームベーキングを楽しみませんか☆

みるくぱれど

裕子パンお菓子教室

ジャパンホームベーキングスクール所属教室

くわしくは ホームページをご覧ください↓

<http://homepage2.nifty.com/milkbread>

道下クリニック

内科・整形外科・循環器内科・皮膚科・リハビリテーション科

神戸市須磨区前池町 2 丁目 8-15 グランパレ板宿 1F

・診療時間: AM 9:00 ~ 12:30

PM 3:00 ~ 7:00 (土曜日のみ PM 6:00 まで)

・休診日: 日曜・祝日

TEL (078) 734-3750



美味



季節料理
つかさ

代表 松下 幸司 (7 回生 3 組)

神戸市西区伊川谷町有瀬 861-9

<お問い合わせ先> 078-976-5303



人気
No.1!

地方発送お受けしてます!!

Support & Service

Serve your PC lives

パソコンのサポートを行っております。

個人様、企業様を問わず出張サポートいたします。

あれこれ悩むよりまずはお電話ください。

TEL: 078-731-5773 FAX: 078-731-3667

サポート&サービス 東浦 信二 (1 回生 6 組)

<http://www.supportandservice.jp/> (更新できていません)

Ristorante
ACQUA PAZZA
Tokyo-Hiroo



新鮮な日本の食材を活かした
イタリアン。
緑溢れる中庭を囲む温かい空間
と心を込めたサービスでお客様
をお迎えしています。

卒業生 (2 回生 3 組) 日高良実シェフの素材味イタリアン
< 東京・広尾 > リストランテ アクアパッツァ
www.acquapazza.co.jp



東京都渋谷区広尾 5-17-10 EASTWEST B1F 【営業時間】 ランチ: 平日 11:30~15:00 (LO13:30) / 土日祝 11:30~15:30 (LO14:00)
TEL 03-5447-5501 ディナー: 18:00~23:00 (LO21:30) 無休 (年末年始を除く)



純正ケミカル製造・販売

Honda Access	SUZUKI	Kawasaki
ISUZU	HINO	ISEKI
KOBELCO	CATERPILLAR	SAKAI

神戸合成株式会社
<http://www.kobe-gosei.co.jp/>



株式会社ラベン
<http://www.laven.co.jp/>

代表取締役社長 宮岡 督修 (二回生)

同窓会賛助金のお願いについて

このたび、同窓会報第2号を発行することが出来ました。同窓会として、今後このような会報を会員の皆様にお届けすることで、母校を懐かしんでいただき、更には母校の発展、会員の親睦に繋がればと考えております。

そこで、同窓会活動の活性化、より内容の充実した会報を皆様にお届けする為に、会員の皆様に同窓会賛助金2,000円のご協力のお願いを申し上げます。

振込用紙を同封しておりますので、お近くのコンビニ、または郵便局からご入金して頂きますようお願い申し上げます。

より充実した同窓会の運営、母校発展、会員の親睦の為に、ご理解頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

原稿募集 (同期会の開催、告知等も掲載することが可能です。)

会報は、さまざまな活動を掲載します。今後もいろいろな情報を掲載させていただき、会員相互の情報交換の場にさせていただければ幸いです。

そこで、会員の皆様から下記のような原稿を募集いたします。

- ・同期会、クラス会、OB会の報告
- ・旅行記、修学旅行、入学式、高校時代の思い出
- ・卒業生のご活躍の方々の紹介
- ・同期会等の開催告知 etc...

方法は、HPよりメールでお寄せ下さい。その際には、卒業年度、クラス、住所、氏名 (回生)、TELをお忘れなくお願いいたします。また、写真等もお送りいただけますと幸いです。尚、紙面の都合上、掲載できない場合もございますので、ご了承下さい。

広告募集

同窓会では、会報にご協賛いただける広告を募集しております。毎号約12,000部発行しています。次号の会報に広告掲載されたい方小野高速印刷(株)までご一報ください。

全面	¥80,000
1/2	¥40,000
1/4	¥20,000
1/8	¥10,000

《小野高速印刷(株)同窓会支援事業部》
フリーダイヤル 0120-66-7754 (9:00~17:00)

OB会等のホームページがございましたら同窓会ホームページにリンクを設定できます。詳しくは事務局までご連絡下さい。

- 北須磨高等学校
兵庫県立北須磨高等学校の公式ホームページ
<http://www.hyogo-c.ed.jp/~kitasuma-hs/>
- 北須磨高校放送委員会OB会
放送委員会OB会のサイトです。
<http://kitasuma.org/>
- Wikipedia北須磨高等学校
Wikipediaに取り上げられている北須磨高校
<http://ja.wikipedia.org/wiki/兵庫県立北須磨高等学校>
- 北須磨高等学校音楽部 & 合唱部OB会
矢田先生を囲んだ音楽部・合唱部のOB会。
<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Sumire/2239/kitasuma/>
- 北須磨高等学校美術部OB会サイト
美術部のOB会サイトです。
http://a_syndrome.at.infoseek.co.jp/
- 北須磨高校硬式野球部
兵庫県立北須磨高等学校硬式野球部のホームページです。
<http://www.geocities.jp/nnk141228/>
- まり遙
2回生のまり遙 (福井真理) さんのホームページです。
<http://www.mariharuka.com/>

編/集/後/記

同窓会報第2号をお届けします。目玉はまり遙さんのインタビュー記事です。彼女の人生が、その歌声の支えになっていると、インタビューを通して感じました。来年の記念式典でのステージに期待が膨らみます。本年度も各部活動が大活躍を見せてくれました。運動部、文化部を問わず素晴らしい生徒さんがいることを誇りに思います。同窓会としても出来る限りのバックアップを継続したいと思います。最後になりましたが、作成ご協力いただいた関係者の皆様方、母校の先生方、加えて無理難題を聞いてくださった小野高速印刷さんにも厚く御礼申し上げます。